**第１９回（平成２９年度）**

岩手県　　　（りんご）

（平成２０年設立）（代表者　　）

　平成２０年の４農協広域合併の後、旧ＪＡ単位で行われていた部会活動の広域化が徐々に進められ、平成２６年に品質向上と有利販売を目的として部会活動が一本化されて、名称を花巻農業協同組合果樹部会に改称したものであり、６３２戸の農家が３５８haのりんごを栽培している。

　「ふじ」の有利販売に向けて、蜜入り指数２．５以上、糖度１３度以上のサンふじを花巻出身の宮沢賢治にちなみ「賢治りんご」としてブランド化した。蜜入りであること及び糖度で選果していることを出荷箱に表示して見える化することにより、ブランド品として年々需要が増加している。

　消費者ニーズに対応し、収益性の向上を目指して、モデル展示圃の設置、研修会の開催等により県オリジナル品種「紅いわて」への改植を積極的に推進している。その際、国が育成したＪＭ台木を利用した早期成園化を図るため、ポット利用による大苗を推進するほか、普及センターとの連携により作成したマニュアルを活用して、単収・品質の高位平準化を図っている。

　意欲ある若者が知恵を出し合い、所得向上と経営安定を達成するため、若手生産者グループを設立し、「THE RINGO STAR」の愛称で、食育活動、プロモーション活動、技術交流を通じた相互研鑽を行っている。同グループによる小学校での出前授業、学校給食を通じたりんごの供給などにより、「りんごを買うなら地元花巻のものを」という機運が醸成されつつある。

（公益財団法人中央果実協会理事長賞を受賞しました）